

発言通告書の要旨(一般質問)

令和5年第2回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
6/9 (金)	1	3 瀧本 哲史	1、対話型AIの活用について	先日、5月24日付の新聞に、対話型AIの活用に向けた検討会が開かれたという記事があった。現在、世の中で注目されている対話型AIの、三豊市としての活用方法について問う。
			2、保育所の労働環境について	現在、社会問題になっている保育士の労働環境について問う。
			3、女性の就業促進について	女性の就業促進の観点から、三豊市のSDGsの取り組みは、何があるか問う。それを踏まえて、みとよSDGs推進パートナーと地域の子育て世代の女性をマッチングする、就業支援のプラットフォームを作ってはどうか。
	2	4 三谷 正史	1、ふれあいパークみののについて	ふれあいパークみののと周辺施設の現状と将来展望。
	3	5 金子 辰男	1、市の農業振興計画について	近年では、農業従事者の減少や耕作放棄地の増加、生産基盤の老朽化など、課題が山積している。三豊市の農業が夢と希望を持って取り組める産業に、魅力ある産業になるための振興計画を、全般にわたり問う。
			2、新教育長に歴史認識を伺う	近年においては、最新の情報、意図的な情報、ありとあらゆる情報が一瞬にして伝播する。歴史を学ぶ学生たちは、正しい情報をその中で、しっかりと見極めていかなければならない。歴史の教科書は、これから生きる人達の未来を拓く教育の原点になると考える。歴史教科書選定の判断基準など、全般にわたり問う。
	4	10 近藤 武	1、森林環境譲与税の活用	これまでの森林環境譲与税の具体的な使途や成果、現地調査や所有者の意向調査などがどれくらい進んだのか、山林の現在状況について。またこれからの里山・山林の在り方、人材育成や担い手確保について聞く。
			2、保健体育推進事業と学校連携	コロナ感染症により、地域では人との関わりが希薄になり交流機会が失われた。現在、各地区ではイベントや行事ごとが増え、感染症以前の賑わいが戻りつつある。しかしながら、今年も地区体育祭が中止になり、小学校単体で行われた校区がほとんどである。これは学校側が教師の勤務時間短縮や子供たちの負担軽減によるものであるとのことである。 保健体育推進事業では「体育祭開催等により市民の健康づくりや地域における世代間交流、コミュニティづくりに寄与する」とうたわれているが、学校と地域の連携について本市は今後どうしていくのかを聞く。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和5年第2回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
6/9 (金)	5	16 込山文吉	1、三豊市防災士会・三豊市建設業組合 災害協定について	<p>三豊市防災士会が発足されて7年経った。</p> <p>(1)三豊市防災士会について現状認識と課題について聞く。</p> <p>(2)防災士会の自主財源確保についての考えを聞く。</p> <p>三豊市建設業組合と災害協定を結んでいるが、財政難もあり工事発注が激減している。</p> <p>(1)災害時の協定に向けての協議が必要と考えるが、考えを聞く。</p>
			2、COCOLOプラン推進について	<p>「COCOLOプラン～誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策～」を受けての不登校支援の推進について</p> <p>(1)不登校特例校である高瀬中学校夜間中学の指導支援体制と課題について聞く。</p> <p>(2)スペシャルサポートルームの整備状況と支援スタッフ配置の課題を聞く。</p> <p>(3)不登校の保護者支援の一步として保護者会の設置について考えを聞く。</p> <p>(4)フリースクールの連携強化について三豊市の現状と課題を聞く。</p> <p>(5)タブレットの活用により授業の自宅配信について聞く。</p>
			3、部活動の地域移行について	<p>「子どもたちの放課後改革」を目指す三豊市</p> <p>(1)学習指導要領では「部活動は学校教育の一環」とされており、地域クラブ活動の位置付けや関係性が十分に整理されていない現状をどのように感じているか教育長の考えを聞く。</p> <p>(2)地域クラブとして大会に参加するにあたり参加費や役員の派遣が必要になる。考えを聞く。</p> <p>(3)3年生が抜ける夏以降、人数不足の部活が多く生じる。対応を聞く。</p>
			4、定住対策について	<p>定住希望者のお試し住宅として活用されている医師住宅の老朽化が激しい。</p> <p>過疎債を活用して改修してはどうか。考えを聞く。</p>
6/12 (月)	6	11 高木 修	1、令和5年度税収見通しについて	<p>景気の回復に伴い、今年度税収がどこまで伸長するのか、見通しを問う。</p> <p>(1)令和4年度からの増減</p> <p>(2)徴収率の変化があれば</p>
			2、道路予算配分の考え方と事業の継続性について	<p>昨年度、積年の課題であった道路拡幅工事がようやく一部だけ実施されたものの、今年度分が予算化されていない事例が発生している。</p> <p>(1)予算確保の考え方を問う。</p> <p>(2)事業の継続性への考え方を問う。</p>

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
6/12 (月)	7	18 横山 強	1、各課の予算と決算について	<p>総務・政策・建設・農政・健康福祉・市民環境・教育委員会・会計・市民病院等の予算と決算の無駄遣いとした問題点と、監査の職務に関わる問題点を広範囲に問う。</p> <p>【総務関係】(1) 市長・副市長の出張に関わる予算の不透明な説明とした問題点 (2) 人事による無駄遣いとなっている任命責任の問題点 (3) 市長と副市長の退職金の用途不明とした説明の問題点 (4) 管財課による備品購入による問題点 (5) 契約書に関わる問題点 (6) 防災マップと建設場所に関わる問題点 (7) 高潮対策の防災マップと矛盾とした建設場所の問題点 (8) 病気等による休職職員に関わる問題点 (9) 総務部全体に関わる問題点等 (10) 建物解体に関わる管財課の取り扱いとした問題点 (11) 総務部各課に関する問題点等</p> <p>【政策関係】(1) 予算・決算に関わる各課の財政の配分と今後の見直しとした問題点 (2) コンサルに委託とした計画書の策定とする問題点 (3) 備品購入に関わる問題点 (4) 三豊ベーシックインフラ整備事業の問題点等 (5) 政策部各課に関する問題点等</p> <p>【建設関係】(1) 詫間支所の設計と建設位置と建設との問題点 (2) 詫間支所選定と防災マップと高潮対策マップとの問題点</p> <p>【農政関係】(1) 豊中小学校の用地に関わる問題点 (2) 農業委員会に関わる問題点 (3) 農政部各課に関する問題点等</p> <p>【健康福祉関係】(1) 松崎こども園の土地の取得等の問題点 (2) 各保育所やこども園等の備品購入に関わる問題点 (3) 各課の計画書等の作成とした問題点 (4) 健康福祉部各課に関する問題点</p> <p>【市民環境関係】(1) 脱炭素作成とした問題点 (2) プラン等作成とする問題点等</p> <p>【教育委員会】(1) 大浜コミュニティーの設計と建設と用地の選定による問題点 (2) 豊中小学校の建設等に対する問題点 (3) 豊中小学校統合とした場所を選定した審査委員会等とする問題点 (4) 各課による備品購入による問題点 (5) 各課による計画書の作成についての問題点 (6) 各課に関する問題点等</p> <p>【市民病院関係】(1) 旧永康病院跡地解体予算に関わる問題点</p> <p>【会計】(1) 各課が予算と決算による問題点の今後の方向性等とした問題点等</p> <p>【監査】(1) 市長・副市長や各課の決算についての精査においての問題点等</p>
	8	1 西山彰人	1、事業の制度や内容の市民周知について	三豊市が行う事業の制度や内容が市民には理解が不十分と思うが、どのように市民に説明し、理解を得ようとしているのか伺う。
			2、三豊市の働き方改革について	三豊市の職員の働き方改革の取り組みについて伺う。
	9	6 湯口 新	1、少子化対策について	少子化が進んでいる。そのスピードを少しでも緩めるための施策が必要である。多子世帯への支援を充実させてはどうか伺う。
			2、父母ヶ浜駐車場有料化について	ゴールデンウィーク期間の父母ヶ浜駐車場有料化について、その経緯と結果、今後の対応を問う。
			3、観光政策における外国人旅行者(インバウンド)対応について	紫雲出山の桜シーズンにはさまざまな国から外国人観光客が多く訪れたと聞く。そういった方々に市内観光を楽しんでいただく施策が必要である。また外国人遍路がかなり増えてきているが、まだ四国内の受け入れ体制は十分とは言えない現状があると聞く。積極的に受け入れ体制を整えて外国人遍路客から選ばれる自治体を目指してはどうか。外国人旅行者への対応について聞く。
			4、SDGs意識啓発について	市職員のSDGs意識が希薄だという調査結果を聞いた。その意識向上のためにクールビズ・ウォームビズを通年化させてはどうか伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和5年第2回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
6/12 (月)	10	13 丸戸研二	1、障害を持つ子供たちへの支援強化が望まれている	(1)子供たちを取り巻く状況 迫り来る8050への課題 (2)三豊市にできること ①情報交換や相談体制の整備 ②地域との交流機会の確保・拡大 ③移動支援体制の整備
			2、災害時、火災時の要員確保対策の強化が必要でないか	(1)消防団員の昼間出動要員の確保 機能別消防団員制度 入退団の考え方 (2)コロナ感染症と出動・訓練体制 訓練等におけるコロナ対応体制はどうするのか。 (3)分団運営費の現状と課題 水火災等に使用する装備品の費用負担
			3、不登校の状況と対策	(1)不登校の状況と認識 現在の状況とそれに対する認識 (2)対策の現状と評価 どのような対策に取り組んで来たのか (3)解決に向けて
6/13 (火)	11	7 田中達也	1、生成型AIの活用と人材育成	チャットGPTをはじめとする生成型AIの活用について、多くの自治体からの注目が集まっている。 三豊市でも「チャットGPTを用いたゴミ出し案内の実証実験」に着手するなど、すでに対応を始めているが、市役所業務で生成型AIをどのように活用していくのか。 また、生成型AIの活用において重要視される「プロンプトエンジニア」を市役所内部および市内事業者向けに育成すべきと考えるが、行政として取り組む考えはあるか。
			2、市民間デジタルディバイドの解消	先日行われた、まちづくり推進隊託問による「MitoPay相談会」の実施結果から、市民のデジタル活用に対するニーズが見えてきた。 デジタルディバイド解消に対する考え方と、文部科学省が実施する国民のデジタルリテラシー向上事業を活用して、市民間デジタルディバイドを解消する考えについて問う。
			3、災害発生時の対応について	企業等と締結している災害発生時の各種協定にはどのようなものがあり、それらは災害発生時に機能するよう維持されているのか。 特に大規模災害発生時の災害廃棄物の処理について、三豊市では最終処分が不可能と考えられる。十分な対策が確立されているのか。
	12	15 水本真奈美	1、日常生活用具給付事業について	(1)在宅で人工呼吸器等の電気による医療機器を必要とする医療的ケア児・者の非常用電源・外部バッテリーを日常生活用具給付事業の対象とする考えを伺う。 (2)網膜色素変性症などの視覚障がい者に対応する暗所視支援眼鏡を対象にする考えを伺う。
			2、災害対策本部の業務継続性確保のための非常用電源について	災害発生時、災害対策本部が設置される庁舎が停電となった場合、非常用電源を適切に稼働させ業務継続性を確保することが求められる。本市の災害対策本部の非常用電源機について、①種類、燃料について②メンテナンス③燃料販売業者との優先供給協定等について伺う。
			3、発達性読み書き障がいについて	(1)小中学校において読み書き障がい(ディスレクシア)の児童生徒の把握 (2)サポート、対応について (3)周知、理解支援について伺う。

質問日	質問順	議席/氏名	件名	要旨
6/13 (火)	13	12 岩田秀樹	1、温暖化による環境破壊を食い止めることが求められている。エネルギーの自給自足をめざした取り組みを	今年度地球温暖化対策事業に取り組むことによる、CO ₂ の削減効果の予測はいくらか。ゼロカーボンに向けて人口減少・高齢化の中どのような目標を掲げて取り組むのか。公共施設の再生可能エネルギーの活用実態はどのようになっているのか。
			2、子ども家庭庁発足に伴い、子どもの意見政策反映の準備はどうなっているか	子どもや若者の意見を地域の課題解決に生かす取り組みの準備はどのように進んでいるのか。
			3、豊中地区小学校統廃合計画について	令和2年「豊中地区小学校統合に関するアンケート」で寄せられた質問にはどのように回答しているのか。アンケートは、賛否を誘導する質問で、山本・財田の結果アンケートも同様である。統廃合ありきである。旧小学校区における避難場所の設置、学童保育の取組みなど放置しての計画で説明不足ではないか。
			4、新年度の小中学校の少人数学級の実態と担任の在籍状況について	新年度の小中学校の少人数学級の実態と担任の在籍状況について。コロナ禍を除きこれまで、行ってきた行事、取り組みで廃止したものは何があるか。
	14	2 三木秀樹	1、新たな人口減少等対策としての「三豊ベーシックインフラ事業」は、昔の村おこし、街おこし[現在版]の2番・3番煎じではないのか	(1)三豊市第2次総合計画(2019～2028年)のまちづくりマップ、ランドデザインは、現在も「生きているのか、消滅しているのか」その返答で質問する。 (2)電通がランドデザインで指摘した、根本的「三豊市の課題」が、副市長が敬愛するデジタル庁の統括官作成の「資料:三豊ベーシックインフラ」には、一言も明記されていない。国の「新たな地域活性化計画ーデジタル田園国家構想戦略ー」には、三豊市の診断が表面的であり、本当に実施するのか疑問点を聞く。
			2、市内小中学校の教職員の残業時間問題及び改善策、職員の健康対策について、「新教育長の決意」を伺う	マスコミ等の報道では、教職員の「過重労働、教師の人手不足」が全国で起こり、学校は「ブラック職場」の声まである。 (1)三豊市内の残業状況とその改善策、職員の健康状況と対策を聞く。 (2)2021年6月議会、2022年3月議会でのGIGAスクール構想の質疑で明らかになった、児童生徒の個性に合わせたICT環境での教員の課題等について聞く。